

団の管理者のミッションとは マネージメントスキル 5

新藤 信夫

団における管理者（団委員長・隊長）、地区、県連の役員として自分はこの立場（役務）で何をすべきかを明確に理解して活動して頂きたい。スカウト活動でのキーマンとなる方々が、自分の果たすべき役割を十分認識しないで任命されたから仕方なくやっているという方々がいるように感じられます。県教育委員会からもスカウト運動は大変良い活動としてご支援を頂いておりますが、より良きスカウトの育成や、スカウトたちがなかなか増加いたしません。スカウト活動活性化のため、キーマン（団委員長・隊長）である関係者ともども**自分のミッションを再認識**して、群馬県連盟や地区のスカウト活動のために「スピードとパッション」をもって頑張ろうではありませんか。

ミッション（使命）

ミッションとは、「使命・目的・役割・存在意義」のことで、「企業が社会に果たす使命」で、「何を目指し成し遂げたいかを表したもの」企業としての存在意義や、経営活動の基軸となるものです

- 1、到達すべき目標がある。（目標）
- 2、目標に進んで行く行動がある。（行動）
- 3、それらが**何か**に求められている。（義務）

* 団委員長としては、**自団のビジョンを考え存在意義を地域社会に示していきたい**ものです。その為には、「**より良き青少年の育成**」という**目標の結果**を出し地域社会から認知されることではありませんか。

現状分析のやり方。

S W O T 分析

経営戦略立案のスタートは、**現状分析**であり、それには、**自社の強み(S)、弱み(W)**、を把握して**外部環境**(経営環境・顧客・競合など)の**機会(O)**及び**脅威(T)**を把握し、その対応策を考える。

(外部) 機会・脅威 (内部) 強み・弱み

- 1、機会を活かし、脅威を克服する。
- 2、強みを活かし、弱みを克服する。
- 3、一点突破で、経営資源を集中する。

* 会員拡充活動を展開していく段階で、現状分析をしっかりと行い、**機会や強みを生かした活動展開施策**を行う。

* 中途退団のスカウトが減らないのはなぜでしょうか。もっと真剣に考えてみましょう！！

『私は、団でも、地区でも、県連でもスカウトたちのために多くの時間を割き、時には金も使ってスカウト活動を一生懸命実施しております』という団委員長や隊長たちが多勢いると思いますが、**皆さん、ご自分のミッションを達成してますか**

子供をスカウト運動に入れた保護者（特に母親）の皆さんは**ボーイスカウトにそれぞれ期待して参加させたのに、その答えが出ていないことはありませんか**。その結果、BVS、CS、時代のスカウト退団者が多いのではないかと思います。（30年43%）団委員長さん、隊長さん、そしてスカウト関係者の皆さん、**お母さんは何を考えているのか、お母さん満足度(CS)を向上させるにはどうするか**、それぞれの立場で自分のミッションを確認してその達成に頑張りましょう。

ヒューマン スキル

(管理者として組織や人を動かす能力)

- 1、コミュニケーション能力・(意思疎通力)
- 2、やる気を高める動機付け能力
- 3、組織全体の力を結集するチーム作り
- 4、リーダーの人的魅力と行動・態度
- 5、リーダーの能力開発 (グレードアップ)

社員としての 要件

(スカウトリーダーとしても)

| | | | |
|---|---|----|----------|
| 人 | 財 | +5 | いなくては困る人 |
| 人 | 材 | +3 | いた方がよい人 |
| 人 | 材 | 0 | いるだけの人 |
| 人 | 災 | -3 | いない方がよい人 |
| 人 | 罪 | -5 | いては困る人 |